



日本アスレティックトレーニング学会

News Letter 第8号

発行:2020年11月30日

No.8 掲載内容

1. 各委員会およびプロジェクトからの情報提供 2
2. 2020 横浜スポーツ学術会議の報告 4
3. 第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会のお知らせ 5

編集後記

1. 各委員会およびプロジェクトからの情報提供

将来構想委員会

「アスレティックトレーニング学用語集」サイトのお知らせ

この度、アスレティックトレーニング学に関連する用語集専用ウェブサイトが学会ホームページ内に立ち上がります。詳細は「用語集作成プロジェクト」からご案内させていただきます。

「安全・安心なスポーツ環境を実現していくために我々が考えるべきこと」

勉強会開催報告

今年度7月から9月にかけて5回の勉強会にて、安全安心なスポーツ環境を実現にむけ、本学会の実施すべき事柄をご意見いただきました。頂戴したご意見を基に学術団体としての活動を進めてまいります。なお、本勉強会の内容は報告書にて会員ページより閲覧可能です。今後も、勉強会の企画を継続してまいります。会員の多数のご参加をお待ち申し上げます。

資格審査委員会

入会申込書フォームのリニューアルおよび入会申込書記入例の掲載について

この度、入会審査が適切かつ迅速に展開することを目的に、入会申込書のフォームを一部リニューアルいたしました。また、記載漏れ等を防ぐため、記入例も合わせて作成いたしました。新しい入会申込書ならびに入会申込書記入例につきましては、既に日本アスレティックトレーニング学会 HP の入会案内に掲載されております。多くの方々にご入会いただけるよう、今後も入会申込の内容や方法について検討を進めてまいります。

入会希望者の審査について

第9回学術大会が近づき、ご入会を希望される方の申請が増えております。適切且つ迅速に審査が進むよう取り組んでまいります。

学術委員会

第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会の一般公開シンポジウム ならびに学術委員会主催ワークショップ開催のお知らせ

学術委員会では、2020年12月5日(土)から12月31日(木)に開催される第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会(オンライン)において、一般公開シンポジウム「アスレティックトレーニングの専門性と多様性」という企画を用意いたしました。シンポジストには、金子聡氏(株式会社フィジカルラボ)、星川精豪氏(江戸川大学)、太田千尋氏(ラグビー日本代表)の一般スポーツ、学校スポーツ、競技スポーツと、それぞれ異なるスポーツ現場において、第一線で活躍のお三方の先生をお招きしております。

さらに、学術委員会主催の企画として、山次俊介先生(福井大学)をお招きし、「アスレティックトレーナーのための正しく統計解析を行うための第一歩」と題したワークショップも開催いたします。山次先生は応用健康科学がご専門であり、スポーツ統計学に関する著書も数多く執筆されております。本ワークショップでは、有意差検定に必要な基礎知識、特にp値の誤用や解釈の間違いなどについてご解説いただくとともに、データを分析する際にどのような点を注意すべきかといった視点からもご講義いただきます。大学院生など研究初学者の方々は必聴の内容です。

用語集作成プロジェクト

「アスレティックトレーニング学用語集」サイトのお知らせ

アスレティックトレーニング学に関連している学問領域は広く、それぞれの領域に関わっている職種も様々です。このような背景のなかで、用語の使用方法が学問領域ごとに異なっていたり、1つの事物に複数の用語が同義で使用されていたりすることが見受けられます。そこで本学会では、関連用語の共通理解と表現の統一化促進を目的とし、アスレティックトレーニング学領域で用いられている用語集作成プロジェクトを2019年2月にスタートさせました。その成果として第一弾の32語がこの度、ホームページにて公開される運びとなりました。

今回リリースする用語を含め、「用語集」としての機能を今後よりよく展開させていくために、会員の皆様には、忌憚のないご意見、ご指導を頂戴したいと考えております。

今後も本活動を精力的に継続し、アスレティックトレーニング学領域の関連用語の整理に努めます。これら「用語集」が皆様の学術活動や実践活動の一助となれば幸甚です。今後ともこの「用語集」の発展にご期待ください。

2. 2020 横浜スポーツ学術会議の報告

2020 横浜スポーツ学術会議 閉会のご報告

2020年9月8日(火)から9月22日(火)の期間にオンライン開催されました2020横浜スポーツ学術会議が無事に閉会いたしました。日本アスレティックトレーニング学会ではテーマ別講演2演題、シンポジウム1演題(日本トレーニング科学会との合同)の企画・運営に協力いたしました。ご講演いただいた6名の先生方には、心より御礼申し上げます。本学会の取り組みについては、学術会議HP(https://www.yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)内の映像「閉会の言葉」において一部紹介されています。是非御覧ください。

本学会で発信した「COVID-19感染拡大時のICTによる健康管理の事例」、「アスレティックトレーニングのヘルスプロモーションへの貢献の可能性」、「若年層スポーツ選手におけるスポーツ外傷・障害の予防」に関する内容は、学術会議の主題にも含まれる「多様な人々が共に生きる世界」を目指す過程において、アスレティックトレーニング学が大きく貢献できる可能性を示すものでした。今後も日本アスレティックトレーニング学会では、スポーツが内包する様々な価値を人々が享受するために必要な環境の構築に向けて、国内外に発信していく取り組みを継続していきます。

PowerPoint スライド ショー - [thumbnails]



The 2020 Yokohama Sport Conference
YOKOHAMA, JAPAN

Session Topic: Sport for Children
Session: N-(20)

Prevention of Sports Injury in Youth Athletes

Speaker(s): Dr. Shogo Sasaki, Dr. Daisuke Sugimoto,
Dr. Masafumi Terada, Dr. Jun Sakata

Chair(s): Prof. Sentaro Koshida, Dr. Rieko Kuramochi

The 2020 Yokohama Sport Conference logo is visible in the top right corner of the slide. A small video feed window in the top right corner shows a man in a white shirt and tie.

3. 第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会のお知らせ

プログラム一般公開について

いよいよ今週末12月5日(土)より大会が開催いたします。第9回学術大会からの新たな試みといたしまして、2つの企画を学術大会ホームページにて一般公開(無料公開)する予定です。

1つ目は大会長広瀬統一先生(早稲田大学)による大会基調講演「日本のアスレティックトレーニングを考える」です。様々な有資格者が協同していく中で発展した日本のアスレティックトレーニングの発展を考えるには、その特徴を改めて知り、受け入れ、今後の日本におけるアスレティックトレーニングを考える必要があると考えます。本学会代表理事も務める大会長より現在から今後の日本のアスレティックトレーニングについて一般の方にも知っていただく機会となればと思います。

2つ目はシンポジウム「アスレティックトレーニングの専門性と多様性」を一般公開いたします。シンポジストは、「一般の人々」「子供」「トップアスリート」それぞれの対象者にトレーニングを実践指導している金子聡先生(株式会社フィジカルラボ)、星川精豪先生(江戸川大学)、太田千尋先生(ラグビー日本代表)の3名です。シンポジストそれぞれから御講演をいただき、今大会のメインテーマである「アスレティックトレーニングの専門性と多様性」について考えていきたいと思っております。座長は本学会前代表理事の山本利春先生(国際武道大学)が行います。

その他、学術大会に参加登録をいただいた方は現場や研究に役立つワークショップを聴講することができます。プログラムの詳細は以下の学術大会ホームページをご覧ください。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsatconference2020/static/program>

編集後記

日本アスレティックトレーニング学会 News Letter 第 8 号をお読みいただきありがとうございました。今回は、各委員会およびプロジェクトからの情報提供を中心とし、2020 横浜スポーツ学術会議の報告、そしていよいよ開催を目前に控えた、第 9 回日本アスレティックトレーニング学会学術大会開催に向けたお知らせを掲載いたしました。各委員会およびプロジェクトからの情報提供では、それぞれの担当分野から、アスレティックトレーニング学会発展のための成果をご覧いただけるのではないのでしょうか。また、学術大会実行委員会からのお知らせでは、一般の方々とともにアスレティックトレーニングについて考える企画も発表されました。スポーツ科学とスポーツ現場を結ぶためには、様々な立場の人々と共通理解を深めていく必要があるため、このような企画は本学会にとって大きなものであると感じています。

次号では、学会員お一人の現場活動をレポートさせていただき、アスレティックトレーニング学領域においてどのような活動をされているのかを紹介していく、『会員紹介』を掲載予定です。学会員の皆様に、より身近で情報収集しやすい媒体を目指して、広報委員会一同精進していく所存です。今後とも、当会活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(広報委員会 News Letter 担当:佐々木さはら)

日本アスレティックトレーニング学会 News letter 第 8 号 2020 年 11 月 30 日発行

編集:日本アスレティックトレーニング学会広報委員会

News letter 担当 佐々木 さはら、田口 暢秀

広報委員会サポートメンバーNews letter 担当 久保誠司、津賀裕喜

片寄正樹(担当理事)、岩本紗由美(委員長)

発行:一般社団法人日本アスレティックトレーニング学会

事務局住所 〒116-0011 東京都荒川区西尾久7丁目 12-16 創文印刷工業株式会社内

電話 03-3893-0111 FAX 03-3893-6611

E-mail:jimujsat@soubun.com URL:<http://www.js-at.jp>
